



学校だより

令和4年7月1日
北区立稲田小学校
校長 吉田 友信

「猛暑襲来」

校長 吉田 友信

プールの季節になりましたが、昔と今の暑さの違いは明確です。私が新採教員としてスタートしたのは、平成元年度です。今から30年以上も前になりました。当時のことを想起してみると、プール開きの式を終えても、梅雨の長雨が続き、「冷夏」と呼ばれる年があったり、気温と水温が思うように上がらなかつたりしたことも多く、入水可能な基準になかなか到達せず、水泳の授業が中止になることが結構たくさんありました。たとえ入水が可能となっても、短時間で唇を紫色にして、「先生、寒いので、プールから上がっていいですか。」と歯をガタガタ、体をプルプル震わせてプールから上がり、タオルを掛けて見学する児童も多くいたほどです。つまり当時、学校のプールの水は冷たいという記憶が残っています。



ところが、今年はどうでしょうか。観測史上最も早く6月下旬に梅雨明けした後は、恐れていた「危険な暑さ」が学校を襲って来ています。30年以上前のように、気温や水温が低くてプールに入れないという日はかなり珍しく、暑さ指数(WBGT)の数値が高く、危険なため入水させられないという真逆の現象が起きているわけです。最近では、「猛暑」「酷暑」「激暑」「劇暑」「炎暑」等と、この暑さにぴったりの表現が様々な報道や天気予報であふれています。

今後、さらに電力や水不足、相次ぐあらゆる物価高騰、不安定な世界情勢等々、数え切れないほどの新たな心配事が次々と湧き起こってくるのが予想されています。この先、どんな厳しい状況下におかれても、地域・保護者の皆様のご理解とお力をお借りしながら、稲田小学校では「児童一人一人のよりよい学び」を止めないために、従前からの感染症対策に熱中症対策を加え、さらにインフルエンザ等の対応も視野に入れながら、安全で学びの多い教育活動を進めるため、ますます全教職員が「チーム一枚岩『稲田小』」を合言葉に努力を続けて参ります。

一例をご紹介します。例えば、体育「水泳」の授業を行うにあたり、コロナ禍以前は2学年ずつ計3～4名の担任で水泳授業を安全に成立させていました。ですが、コロナ禍では密を避けるため、1学年ずつ水泳授業を実施しています。その際、計2名の担任教諭だけではなく、毎時間相互に1名以上の教員が補教人員としてさらに入る体制を組み、計3名以上の体制でまさにフル稼働の状態の水泳授業を実施しています。

この一例のように、新たに何か対策を講じるごとに、一人一人の教職員が組織全体のために行わなければならない業務は増え続けている現状があります。ひとえに稲田っ子の成長を喜びとして一生懸命取り組んでいます。保護者の皆様のご理解とご協力を切に願います。

◆◆◆7・8月の主な行事予定◆◆◆

1日(金)	安全指導 自転車教室(4年)	19日(火)	5時間授業 個人面談 給食終
2日(土)	土曜公開授業 3時間授業 保護者会	20日(水)	4時間授業 大掃除
4日(月)	あいさつ運動始(4-1)	21日(木)	夏季休業日始 ラジオ体操
5日(火)	たてわり班遊び	22日(金)	ラジオ体操 夏季プール
6日(水)	4時間授業	25日(月)~	ラジオ体操 夏季プール
7日(木)	体育集会 避難訓練 クラブ	27日(水)	
8日(金)	水曜時程 5時間授業 あいさつ運動終(4-1)	8月28日(木)、29日(金)	夏季プール
11日(月)	5時間授業 個人面談	8月1日(月)、2日(火)	夏季プール
12日(火)	5時間授業 個人面談	8月3日(水)	6年日光高原学園事前検診 夏季プール
13日(水)	4時間授業 研究授業(5-2)	8月4日(木)~5日(金)	6年日光高原学園(ホテル花の季)
14日(木)	5時間授業 個人面談	8月25日(木)~8月31(水)	ラジオ体操
15日(金)	5時間授業 個人面談	9月1日(水)	給食始 登校班会議 避難訓練 集団下校 5時間授業